

## 医・工・情報連携ワークショップ 2024 実施報告

教育・研究にかかる WG

### [開催概要]

日 時 2024 年 8 月 22 日 (木) 10:00 - 18:30

場 所 浜松医科大学 講義実習棟 201 教室

運 営 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター  
地域創成防災支援人材教育センター

テーマ 避難所運営のシミュレーションと  
地域社会の回復に向けたソーシャルソリューションの検討

### 第 1 部 情報提供

浜松医科大学渡邊理事の開会あいさつ、次世代創造医工情報教育センター長の中村教授から趣旨・進行説明の後、テーマに関連した分野で活躍する講師 4 名から災害や防災、また災害時医療や避難所の課題等に関する講義が実施された。

静岡大学防災総合センター 岩田孝仁 特任教授

「災害とは何か～被災時や被災後の状況について」

浜松医科大学次世代創造医工情報教育センター副センター長 齊藤岳児 准教授

「災害時医療や避難所の実際について」

浜松市危機管理監危機管理課市民啓発グループ 渥美高幸 グループ長

「浜松市の防災体制や防災への取り組みについて」

静岡大学防災総合センター長 北村晃寿教授

「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）について」※ランチョンセミナー



浜松医科大学 渡邊理事 開会挨拶



浜松医科大学 次世代センター長  
中村教授 趣旨説明



静岡大学 防災総合センター 岩田特任教授



浜松医科大学 次世代センター 齊藤准教授



浜松市 危機管理課市民啓発グループ  
渥美グループ長



静岡大学 防災総合センター長 北村教授  
※ランチョンセミナー

## 第2部 ワークショップ

学生は6グループに分かれて避難所の課題解決について検討した。グループワークでは浜松医科大学次世代創造医工情報教育センターの齊藤准教授がコーディネーターを務め、避難所運営のカードゲームや傷病者の搬送体験、水から作るカップラーメン、突発的な停電イベントなど体験学習を交えた実践的な手法で進めた。



グループワークの様子



搬送体験



水カップラーメン作り



停電イベント



成果発表会 1



成果発表会 2



成果発表会 3



静岡大学 川田理事 閉会挨拶

### 第3部 施設見学

学生は3グループに分かれて浜松医科大学内の研究・診療施設を見学した。

- ・先端医療センター
- ・救急部および救急施設等
- ・光医学総合研究所



施設見学（救急部）



施設見学（救急部）

### 第4部 懇親会（参加学生、関係教職員）

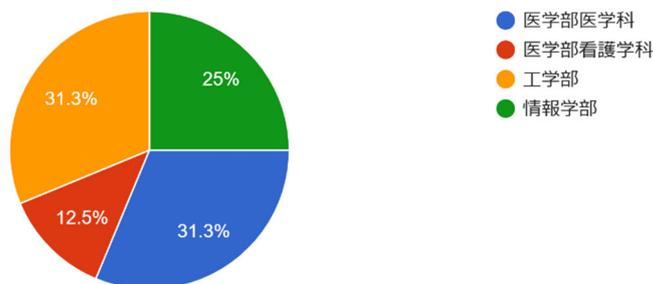
医工連携のベースとなる人間関係の構築を目的に、ワークショップ参加学生および関係教職員が交流した。



## 参加学生アンケート

あなたの所属を回答してください。

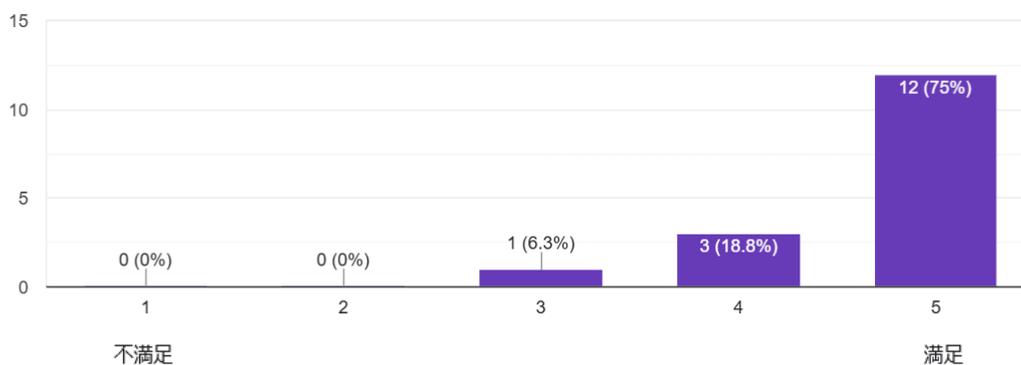
16件の回答



### 第1部 情報提供

「第1部\_公開セミナー（ミニ講義）」の満足度を教えてください。

16件の回答



ミニ講義の良かった点や継続して欲しい点があれば、教えてください。

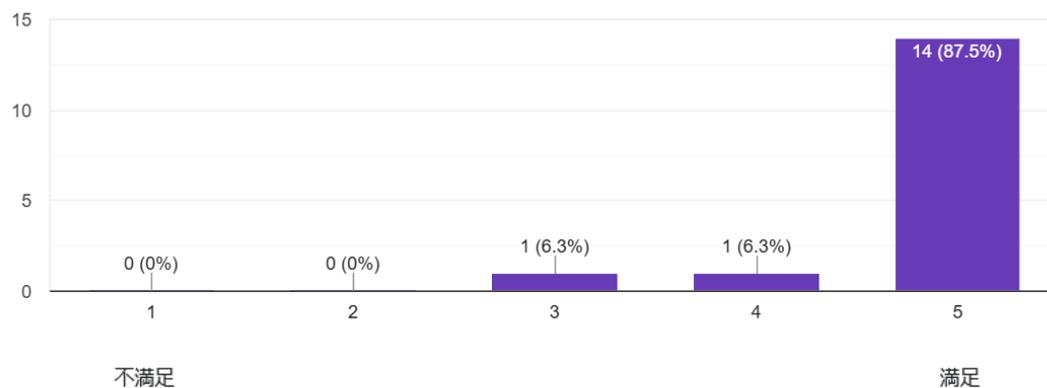
(一部抜粋)

- ・様々な立場の方から違う角度で防災や防災医療について話を聞いた点は参考になった。
- ・それぞれが異なる視点からの講義で新しい知識を得られたので、これからも他分野に渡る講義を継続してほしい。
- ・ランチョンセミナーにおいて、具体的な過去の事例を踏まえて改めて今回の警戒宣言を考えているのが判った。

## 第2部 ワークショップ

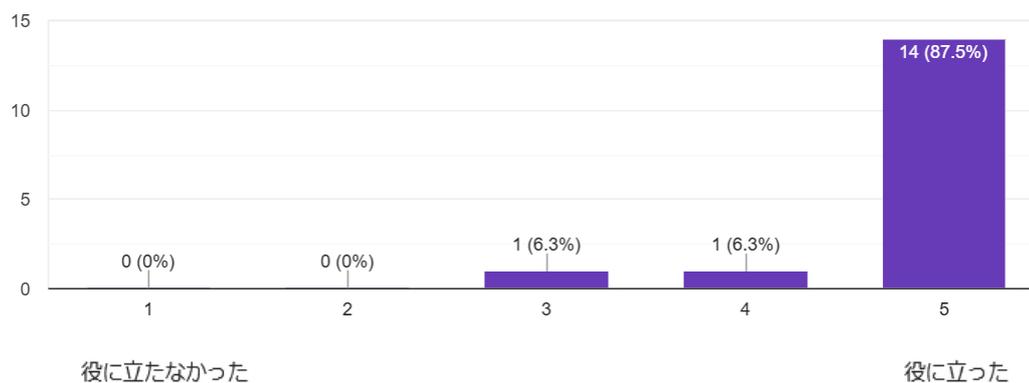
「第2部 ワークショップ（グループワーク）」の満足度を教えてください。

16件の回答



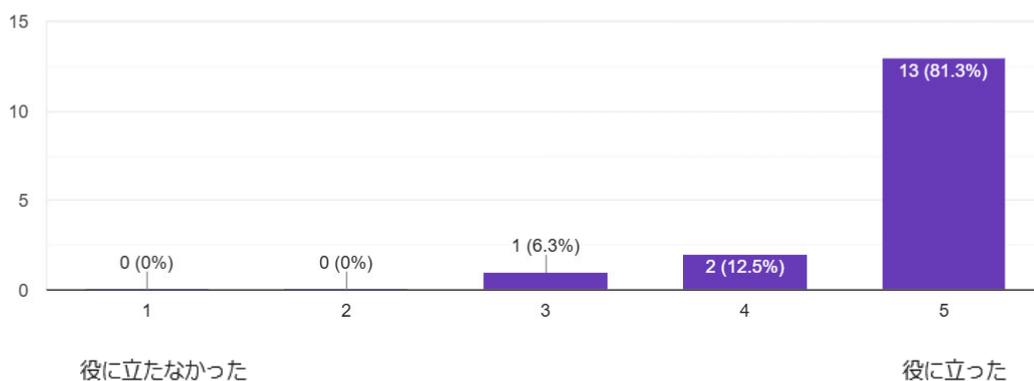
「第2部 ワークショップ」のカードゲーム（HUG）はグループワークに役に立ちましたか。

16件の回答



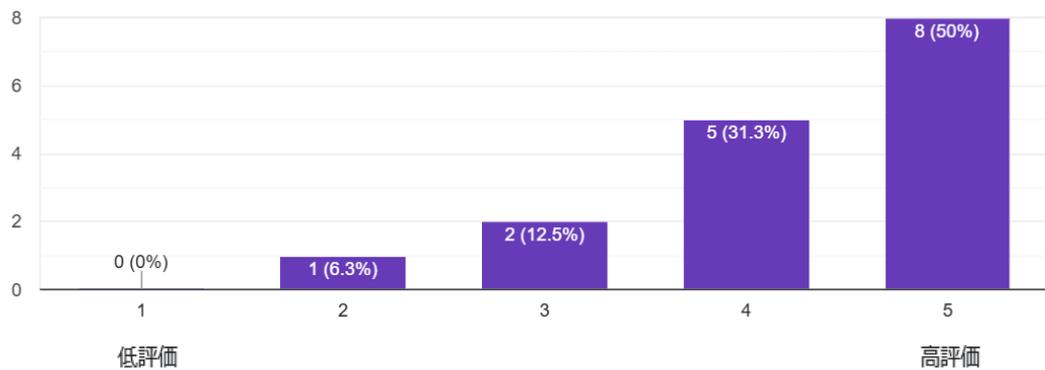
「第2部 ワークショップ」の体験イベント（担送訓練・水カップラーメン・停電イベント）は防災意識や災害時対応スキルの向上に役に立ちましたか。

16件の回答



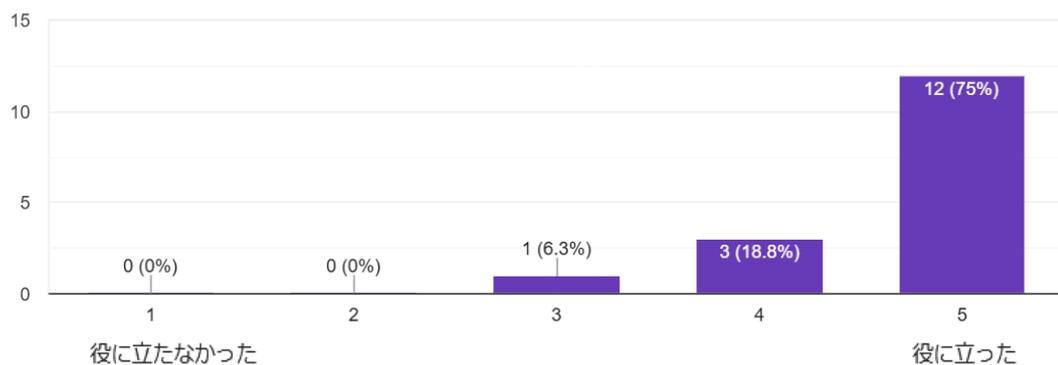
「第2部 ワークショップ」における自グループの成果に対する自己評価を教えてください。

16件の回答



「第2部 ワークショップ」において、ファシリテータのフォローはグループワークに役立ちましたか。

16件の回答



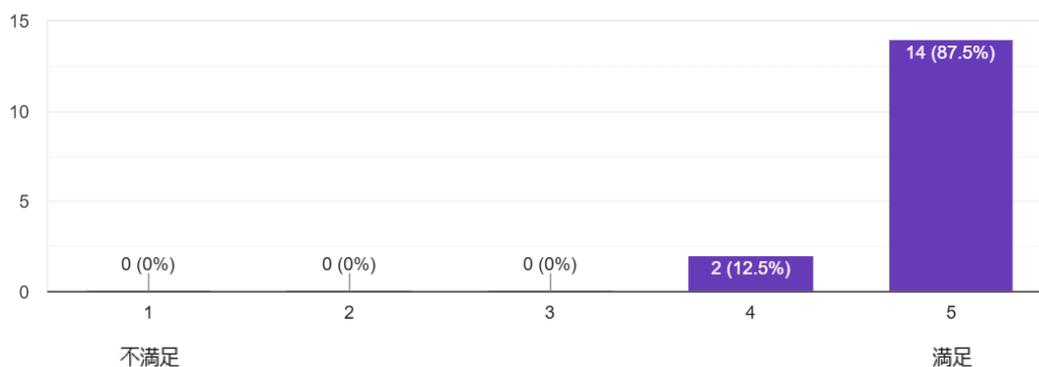
ワークショップの良かった点や継続して欲しい点があれば、教えてください。  
(一部抜粋)

- ・アクシデントが次々起きるようになっており、イベントとして楽しめた。
- ・ファシリテータのフォローが悩んでいるときに考える道筋を立ててくれて助けられた。今後も資料を見て考えるだけではできない経験が得られるような企画を続けてほしい。
- ・事前の調べ物などでは経験できない迅速な判断が必要な状況という緊張感があり、実際にこういったイベントに参加する意味を感じられた。その状況のおかげでグループメンバーとも必然的に会話をする機会が増えて、自然に話しやすくなった。
- ・ゲームをしながら色々なイベントが発生して、災害時に役立つ知識を得られて良かったです。ゲームでグループの仲が深まり、その後のグループワークがやりやすかったです。

### 第3部 施設見学

「第3部 施設見学」の満足度を教えてください。

16件の回答



施設見学の良かった点や継続して欲しい点があれば、教えてください。

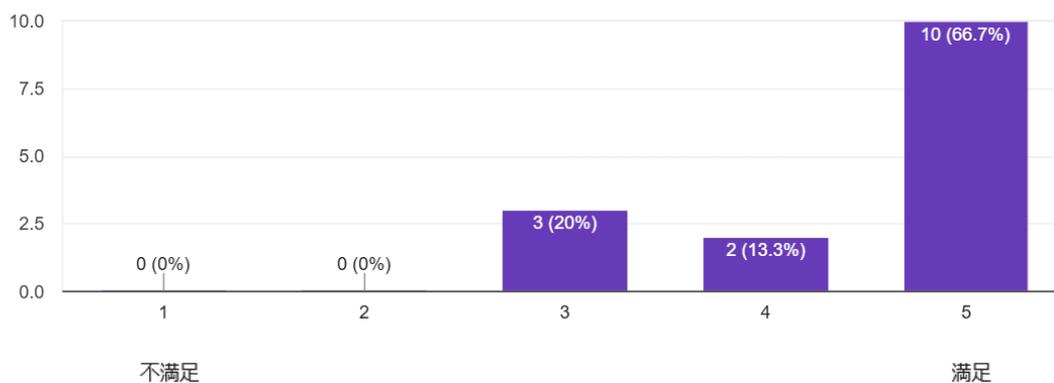
(一部抜粋)

- ・普段見ることのできない施設を見学することができ、浜松医科大学についてよく知ることができたのがとても面白かったです。移動や施設の説明中に大学の方々とも交流できたことが貴重な経験になりました。
- ・現場を確認できたことで将来自分が働く姿を少しイメージできた点は良いと感じた。

### 第4部 懇親会（参加学生、関係教職員）

「第4部 懇親会」の満足度を教えてください。

15件の回答



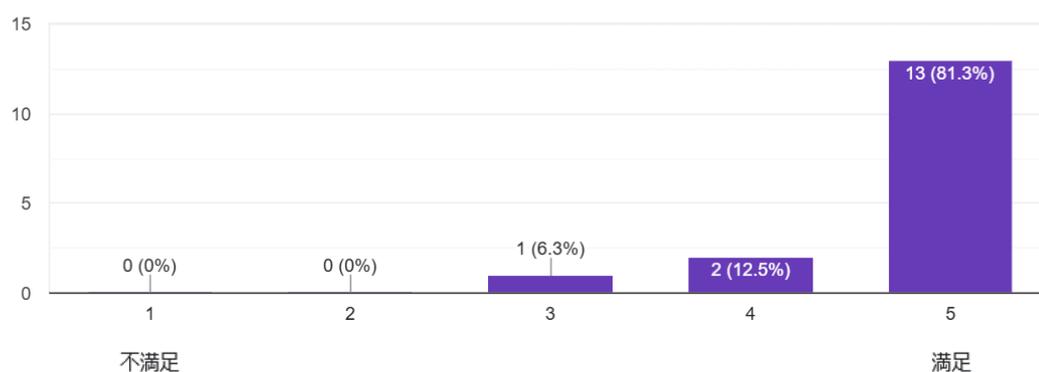
懇親会の良かった点や継続して欲しい点があれば、教えてください。(一部抜粋)

- ・教職員の方々とゆっくり話をする機会はあまりないので面白かった。どの方もフランクで話しやすかった。実際に東日本や阪神淡路で経験した話にもなり有意義な時間だった。
- ・グループワークを一緒に行ったメンバーとより深い話をする事ができ、とても楽しかったです。

## 医・工・情報連携ワークショップ全体の評価について

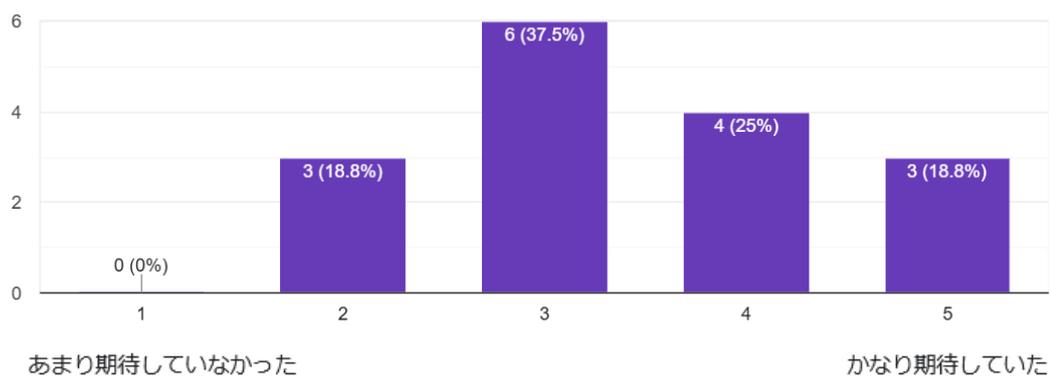
全体として本ワークショップの満足度を教えてください。

16件の回答



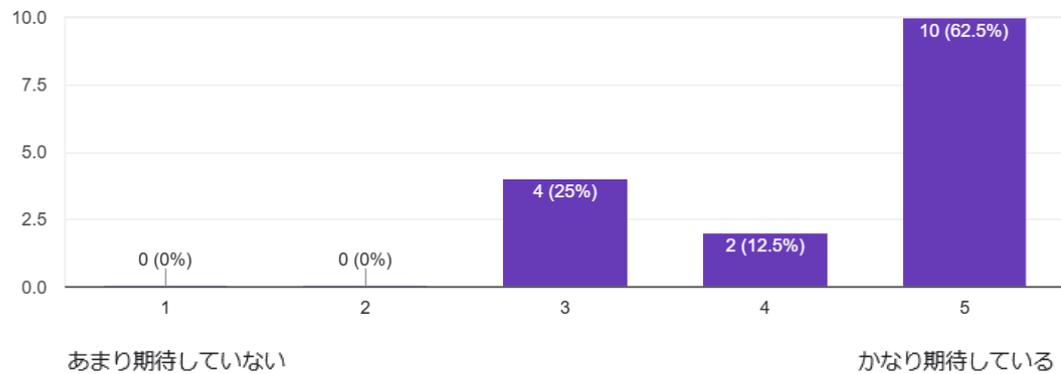
本ワークショップに参加する"前"の時点で、あなたは医学・工学・情報学の連携にどの程度期待していましたか。

16件の回答



本ワークショップに参加した"後"の時点で、あなたは医学・工学・情報学の連携にどの程度期待するようになりましたか。

16件の回答



本ワークショップに参加した感想や、次回イベントにつながる提案があれば、教えてください。（一部抜粋）

- ・ 普段関わることのない医学生たちとグループワークをしたりお話ししたりすることができた。また機会があれば参加したいと思う。
- ・ 初めは全く面識のない人たちとのグループワークで十分にコミュニケーションがとれるか心配だったが、ファシリテータのフォローで和やかな雰囲気で行うことが出来て話がしやすかった。解決案を考える時間でもメンバー全員が発言できていて、実現できそうな解決案を提案できて良かった。
- ・ 様々なプログラムを1日で経験でき、とても充実した日になりました。本イベント前の予習やイベント中、イベント後を通して防災や災害時の対応について改めて深く考える機会となりました。またこのような機会があれば参加させていただきたいと思いました。
- ・ とても楽しい1日でした。後輩にも薦めたいと思います。